

発
中建
広島市中区
〒730-0805 TEL
FA
https://ch
E-mail:info
購読料
© 中建

小物な
建設機械
YASUMORI
本社 社
〒730-0826
TEL
E-mail:info
光南倉庫
〒730-0825
TEL

地位向上へ情報交換継続

合格率15%の難関も評価伴わず

と会
局診
備断
整5

中国地方整備局と中国5県のコンクリート診断士会は11日、広島市中区で第3回目となる意見交換会を開催。各会が個別展開している技術研修や現場見学会などの活動、国の老朽化対策に関する最新施策などについて情報共有が図られたほか、コンクリート診断士が維持管理に特化した専門的で高度な資格であることを踏まえ、入札参加の資格要件等において他資格との差別化を図るべきなど、診断士の地位向上を要望した。

会合には、中国地方整備局道路部の高口敏弘道
路保全企画官、蔵本直行
道の診断士会からは、広
島県コンクリート診断士



十河会長

会の十河茂幸会長(近未
来コンクリート研究会)
をほはじめ、岡山県の澤嗣
郎会長(エイト日本技術
開発)、島根県の松浦寛
司会長(同)、鳥取県の田
中孝志会長(西谷技術コ
ンサルタント)、山口県
の瀬原洋一会長(トキワ
コンサルタント)ら各県
の会長・副会長が顔を揃
えた。
十河会長は冒頭のあい

さつで、「診断士になる
にはかなりの知識と経験
が必要だが、その割には
評価が低いのではという
のが共通の思い。資格が
あれば必ず良い仕事があ
る訳ではないが、必要
条件ではあるはず。本日
はわれわれの活動を、理
解いただくことで、地位
向上に向けたご指導・ご
協力をお願いしたい」と
述べた。

資質を幅広く活用してい
ただけるよう資格要件を
幅広く設定しており、全
国的な問題でもあるので
難しい。何か良いアイデ
アがあればぜひ提案して

山和建設が81点獲得

22年度の成績評定明らかに

九州地方整備局下関港
湾事務所の2022年度
の工事成績評定と業務成
績評定の結果が明らかに
なった。このうち、下関
港(新港地区)護岸(防波
)上部工を施工した山和建
設が81点を獲得した。

- 九州地方整備局下関港湾事務所の2022年度の工事成績評定と業務成績評定の結果が明らかにになった。このうち、下関港(新港地区)護岸(防波)上部工を施工した山和建設が81点を獲得した。
- ▽令和4年度下関港湾事務所管内内港湾施設実施設計外1件「日本港湾コンサルタント」、78点
- ▽令和4年度下関港湾事務所管内内港湾施設実施設計外1件「日本港湾コンサルタント」、78点
- ▽令和4年度下関港湾事務所管内内港湾施設実施設計外1件「日本港湾コンサルタント」、78点
- ▽令和4年度下関港湾事務所管内内港湾施設実施設計外1件「日本港湾コンサルタント」、78点

日本測量協会中国支部
は9月20日、広島市中区
の広島工業大学広島校舎
で「UAVを用いた空中
写真測量講習会」を開
く。定員は30人。
UAVによる空中写真
測量は、すでに国土地理
院が「UAVを用いた公

浜田道猪子谷橋他1設計
参加表明書24日まで

西日本高速道路中国支
社は12日、WTO対象と
札日は9月21

「よい」と回答し、今後
も情報交換を継続する
としたが、「診断士を持つ
ていることで印象は違
う。その意味で一定の差別
化はなされているのでは
」とする意見もあった。
また、会員のスキルア
ップのため、管内で実施
されている橋梁・トンネ
ル等の補修や劣化事例
についての情報提供を求
めたことには、「有料だ
が広島県土木協会らと連

携して取り組んでいる小
規模橋梁の簡易点検要領
の作成に向けた取り組み
も紹介された。簡易的な
削孔等によって目視と打
音検査ではわからない塩
化物イオン量や中性化の
深さを測り、計画的な予
防保全につながるための
もので、この件について
も後日改めて意見交換を
開くなど、情報共有を図
ることで一致した。



中国地方整備局は、簡
易公募型プロポーザル方
式を採用した「令和5年
度ICTを用いた道路映
像情報等の高度化に関す
る検討業務」の委託先を
日本工営に特定した。

業務は、災害情報や日
常の道路管理における道
路情報の把握に関して、
同局管内に設置している
CCTVカメラの利便性
を向上するために、ICT
・AI等の技術を活用

良和ハウス
区楠木町2
田伸幸代表